

# 令和4年度 第2回学校給食用物資選定懇談会 議事録概要

1 **日時** 令和5年2月3日（金）午後2時から午後2時40分まで

2 **場所** 生涯学習センターけやき 第2会議室

## 3 **議題**

(1) 学校給食用物資選定懇談会について

(2) 令和5年度上半期（4月～9月）使用物資について

ア 学校給食用物資について

イ 一般物資について

ウ 選択制物資について

エ 新規物資について

(3) その他

4 **出席者** 岩田真由美校長、藤崎奈津子保護者の代表、奥津和恵学校栄養職員、松本萌学校栄養職員、吉田志帆学校栄養職員、桐山袈遥学校栄養職員、白石真理子学校栄養職員、丸山賀子栄養教諭

5 **欠席者** 小田中大直校長、小川新治保護者の代表

6 **事務局** 内田学校安全課長、田代学校安全課副課長、田邊給食係長、山崎給食係長

## 7 **議事概要**

### (1) **開会**

ア 会議の公開について

事務局より小田原市学校給食用物資選定懇談会設置要綱 第4条によりこの会議は公開になることを説明した。

イ 学校安全課長挨拶

皆様、こんにちは。学校安全課長の内田でございます。

本日は、大変お忙しいなか、令和4年度第2回学校給食用物資選定懇談会に、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。皆様方には、日頃から、学校給食における円滑な運営にお力添えを賜っておりますことに、改めて、厚くお礼を申し上げます。

本市においては、コロナ禍の影響などによる学校給食材料費の高騰が続いており、それに対応するため、国の交付金を財源に、学校給食費を値上げすることなく、従

来どおりの栄養バランスや質・量を保った学校給食を安定的に提供しております。

また、新年度（来年度）につきましても、いまだに物価高騰が続いていることから、給食費検討委員会から答申のあった給食材料費の1食単価を増額採用するなど必要な対応をとっていくことにならうかと思えます。

この懇談会では、令和5年度上半期学校給食で使用される物資のうち、調味料や缶詰・冷凍食品・乾物などの一般物資や選択制物資、新規物資について、ご意見をいただくことを目的としています。校長先生、保護者の代表、栄養教諭および学校栄養士の皆様から御意見をお聞きし、児童・生徒の健康を第一に、安心・安全でおいしい給食が提供できるように、努めてまいりますので、是非、皆様にご協力いただきますよう、お願いを申し上げます。本日はどうぞ、よろしく願いいたします。

## (2) 議題

### (1) 学校給食用物資選定懇談会について

事務局より学校給食費の公会計化に伴い、学校給食用物資については、小田原市で選定することとなった。この会は、学校給食用物資の選定にあたって給食関係者から意見を聴取するために設置するものであると説明した。

### (2) 令和5年度上半期（4月～9月）使用物資について

#### ア 学校給食用物資について

物資資料の資料1 学校給食用物資について、事務局から説明し、質問はなかった。

#### イ 一般物資について

資料2 令和5年度上半期一般物資一覧について事務局から説明し、質問はなかった。

#### ウ 選択制物資について

資料3 令和5年度上半期選択制物資について、事務局から説明し、質問はなかった。IZUMIYAからの仕入れる金時豆は、仕入れ業者が木村商事に変更となったが、規格書等で確認したところ、物資として妥当、他と遜色ないことから妥当と考え選定した。

#### エ 新規物資について

事務局から、新規物資について事前に栄養教諭及び学校栄養職員から希望を募ったところ、第1ブロック、第2ブロック、調理場ブロックがあったことを説明、業者からの新規登録物資用の必要書類を審査し、資料4に一覧、資料5に詳細を示し、新規登録を考えていると説明した。

続いて、事務局から新規物資について希望を出した栄養士からその理由について発言を求めたところ、第1ブロックの奥津学校栄養職員は、

新規物資の①～⑦を希望した。国の栄養摂取基準に基づき献立作成をしている。不足しがちな栄養素はカルシウム、ビタミンC、鉄で、これらの不足しがちな栄養素を強化したデザートを希望したと説明した。中でもビタミンCの栄養摂取基準は25%も上がり、基準に近づけるために苦

労していた。課題解決のために採用されている物資の中で栄養素を強化した商品は探したが、数種類しかなく、毎月同じようなデザートを出すことは避けたいと考えた。そこで、納入業者に相談し、要望に沿った商品カタログを頂き、栄養士ブロックの中で相談して検討した。食物アレルギーにも配慮した商品だったため、安心できると考えた。また、バリエーションが豊富になることで、献立に幅が出て、児童を飽きさせない、お楽しみ要素としても役立つと考えて希望を出したと説明した。他構成員から質問はなかった。

第2ブロックの松本栄養士は、すりごま（白・黒）とねりごま（白）、ベストサンドの希望を出した。すりごまの見積はなかったが、セサミトースト等に使用、ねりごまは、担々麺を提供する際に使用したいと考えた。

ベストサンドは、ソーセージでチーズを挟み、フライにしたもの、他市で使用している実績があり、人気が高い商品だったので、小田原でも取り入れたいと考えてと説明した。藤崎委員からベストサンドについて松本栄養士に再度説明の依頼があった。

共同調理場ブロックの丸山栄養教諭から、フレンズミールシリーズを希望した理由は、アレルギー対応ができる工場で製造しているためと説明があった。

⑧⑨、⑩⑪キャベツメンチカツ、国産鶏豚使用のメンチカツはカツなので揚げると思いがちだが、焼き調理も出来るため、3品献立を増やしていきたいと考えると、釜の数等の設備面で制限を受けるため、焼き対応が可能である商品を選定した。サワーゼリー、ラムネゼリー、キャラメルプリンは中学校のカルシウム強化を目的で選定した。共同調理場は小中合わせ持っているところもあるため、献立は小学校を基準として作成し、中学校は割増1.3倍としている。ただ、中学校は、小学校の1.3倍かけてもカルシウムが足りないため、中学生だけでもデザートを変えるなどの対応ができるように中学生向けのデザートとして希望した。

また、小田原市の物資の中でフルーツ系のデザートはたくさんあるため、フルーツ系でないものを提案した。サワーゼリーやキャラメルプリンは乳成分も入っているが、中学生になると、乳アレルギーが減り食べられるようになる場合が多い。ラムネゼリーはカルシウムの強化を目的としている。ラムネのような味がするので、今の子供たちが好む味ではないかと考えた。焼売については、肉焼売とコーン焼売があるが、豆腐焼売は加熱しても柔らかかったため、希望した。野菜焼売は鉄が強化され、見た目にも野菜が多く入っていることを確認できたため希望したと説明した。

#### (4) その他

保護者代表の藤崎委員から小学校の娘はココアトーストが好きで、3年ぶりにやっと提供してもらえた。クラスでも人気があったようだが、

物価高騰で値段が上がったから提供してされなかったのかという質問があり、事務局から、コロナ感染拡大防止の観点から焼きトーストにするということは、素手でパンを持ち食べる形式であるため、提供を控えていたが、教育委員会の通知文により、学校判断でトーストを解禁としたため提供されたと説明した。ココアの値段は令和4年度下半期と令和5年度上半期では、同額であり、物価高騰の影響を受けていないと説明した。

栄養教諭及び学校栄養職員からこの場で伝えておきたいことについて

第1ブロックの奥津学校栄養職員からは次年度の給食食材料費が決定しておらず、今まで通りとはいかず、変化を余儀なくされる状況下ではあるが、節約するところは節約して、栄養基準を満たすことを第一に、子ども達に食べてもらえるよう工夫しながら、献立作りをしていきたいとの発言があった。

第2ブロックの松本学校栄養職員からは今後も物資の値段が上がっているが、栄養価を満たし、子ども達が楽しみになる献立作りを心がけていきたいとの発言があった。

第3ブロックの吉田学校栄養職員からは、保護者からココアトーストの提供について話があったが、コロナにより給食の提供の仕方が変わった。しかし、少しずつ考え方が変わってきているので、柔軟に対応していきたいと発言があった。

第4ブロックの桐山学校栄養職員からは物価は上昇しているが、栄養価は保てるようにしていきたい。他市の情報も収集してよい点を取り入れていきたいと発言があった。

第5ブロックの白石学校栄養職員からは今後も物価上昇が続くと思われるが、新規物資などもとりいれながら、献立を工夫していきたい。また、栄養価を考えて作っても食べてもらえなければ、子どもたちが必要な栄養素を摂取することはできない。学校給食週間中に委員会の子供達から給食を残さず食べようと働きかけたところ、反響があり、12月、1月は残食が減る傾向にあった。子供達からの自発的な働きかけは大事であると考えていると発言があった。

共同調理場の丸山栄養教諭は、共同調理場にいるとなかなか子供達の様子を毎日決まった時間に見に行く機会が困難な状態である。今年度4月から6月までは今まで通りの給食費で7月から国の補助金を市でとってもらったため、給食費が上がり有難かった。給食費の心配も随分減った。品物の高騰が激しくてなかなか思い通り、提供できていないのが現状であるが、補助金がなかったことを考えれば改善された。来年度も何とか給食費の確保を引き続きお願いしたい。お金がないと栄養価も満たすことも困難で工夫しても限界があるため、是非お願いしたい。子供達への働きかけについてはICTの活用が以前に比べて、学校の中では定着してきている。

共同調理場は場所も異なり、クロームブックも配当されていない状態な

ので、自分が積極的に関わることができなかったが、動画を作り、全校に流してもらう活動があった。こちらの思いを伝える場として良い機会であった。今後もそういった活動が定着できるといいと考えていると発言があった。

小学校の校長代表の新玉小学校の岩田校長から、日々栄養職員の皆さんには、物価高で献立を苦勞して立ててもらっていることに感謝している。

今年は給食関係の委員会にも出させて頂き、一生懸命やって頂き、給食が食べられると思うと毎日検食をしていて感謝して頂いている。先日、カマス棒というフライが出たが、とても美味しかった。栄養士に聞いたら、子どもにも人気で残らなかったと聞いた。これからあまり頼めないという話も聞いたので、子ども達の人気のある献立はながく続けてほしい。新規物資ということで、初めて食べるという子ども達の興味も引くと思うので、子ども達が喜ぶ献立を作って頂きたい。来年度からはマスクなしで食べられるのか、コロナは、続くと思うので、気を付けながら学校のほうではやっていきたいと発言があった。

内田学校安全課長から、皆さんから貴重なご意見をお伺いして、物価高で栄養士の皆さんがご苦勞されていることはよく分かった。今回の上半期の物価も平均8%くらい上がっている。岩田校長先生が給食費検討委員会の委員長をやって頂いた。給食費の答申にも増額を頂いたところである。

まだ予算化されていないので発言はできないが、善処できるようにしている。材料費もしっかり確保してまいりたい。子ども達の喜ぶ安心安全な給食を作って頂ければと思う。またこの先物価が上がるのであれば、検討しながら考えてまいりたい。With コロナ、5類に引き下げることが決まっているので、給食提供の方法も徐々に変わっていくのかと思う。また、現場の状況や周りの状況を勘案しながら、適切な対応に変えていきたいと述べた。

事務局から、事務連絡、令和5年度上半期の一般物資、選択制物資、新規物資について頂いた意見を参考にして決定する。3月には、各学校と栄養教諭および学校栄養職員に物資の価格表を送付したいと説明した。

次回、令和5年度第1回物資選定懇談会を、令和5年7月25日（火）に、第2回目を令和6年2月7日（木）に生涯学習センターけやきで予定していると伝達し、閉会とした。

追記、事務局より、業者より提案があった新規物資の⑱⑳について説明した。